



News Release

2020年5月28日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
四 国 支 所

屋内で起こる高齢者の転倒・転落事故を防ぐ ～四国地方における事故を中心に～

本資料は、NITE（ナイト）が経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに対して行う、高齢者^(※1)が被害者となった屋内の事故を防ぐための注意喚起にあわせて、四国地方4県での事故事例を補足的に紹介するものです。

1. 四国地方での事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2010年度から2019年度の10年間にNITE（ナイト）に通知のあった製品事故情報^(※2)のうち、四国地方4県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）で発生した高齢者が被害者となった屋内の事故は、合計57件ありました。^(※3) このうち、34件の製品事故は火災を伴っています。

事故の被害状況では、57件の事故のうち「死亡」に至った事故は21件、「重傷」が13件、「軽傷」が23件です。

種々の事故件数等詳細については、年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 定義は全国版のプレスリリースを参照。

※2 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※3 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

表1. 年度別事故発生件数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
発生 年 度	2010年度	4	1		1	6
	(内数) 火災事故	(3)	(1)			(4)
	2011年度	7	2	1	1	11
	(内数) 火災事故	(3)	(1)		(1)	(5)
	2012年度	2	4		1	7
	(内数) 火災事故		(2)		(1)	(3)
	2013年度	5	5		1	11
	(内数) 火災事故	(4)	(3)			(7)
	2014年度	2	2			4
	(内数) 火災事故	(1)	(2)			(3)
	2015年度	3	1		2	6
	(内数) 火災事故	(2)	(1)		(1)	(4)
	2016年度	2	3			5
	(内数) 火災事故	(1)	(2)			(3)
	2017年度	2	1		1	4
	(内数) 火災事故	(2)	(1)			(3)
	2018年度					0
	(内数) 火災事故					(0)
2019年度		1	1	1	3	
(内数) 火災事故		(1)	(1)		(2)	
合計		27	20	2	8	57
(内数) 火災事故		(16)	(14)	(1)	(3)	(34)

表2. 被害状況別事故発生件数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
被害 状 況	死亡	9	9	1	2	21
	(うち、火災事故)	(7)	(8)	(1)	(1)	(17)
	重傷	7	3		3	13
	(うち、火災事故)	(3)	(1)		(1)	(5)
	軽傷	11	8	1	3	23
(うち、火災事故)	(6)	(5)		(1)	(12)	
合計		27	20	2	8	57
合計 (火災事故)		(16)	(14)	(1)	(3)	(34)

表3. 原因区分別事故発生件数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	3	1			4
	(内数) 火災事故	(1)				(1)
	B:製品および使い方に問題があったもの	1				1
	(内数) 火災事故					(0)
	C:経年劣化によるもの	1				1
	(内数) 火災事故	(1)				(1)
	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの					(0)
	(内数) 火災事故					(0)
	小計	5	1	0	0	6
小計(火災事故)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	
製品に起因しない事故	D:施工、修理又は輸送などに問題があったもの	1	1			2
	(内数) 火災事故					(0)
	E:誤使用や不注意によるもの	4	3		1	8
	(内数) 火災事故	(3)	(2)		(1)	(6)
	F:その他製品に起因しないもの	7	5		1	13
	(内数) 火災事故	(5)	(3)			(8)
	小計	12	9	(0)	2	23
小計(火災事故)	(8)	(5)	(0)	(1)	(14)	
G:原因不明なもの (G3を除く)		10	9	1	4	24
(内数) 火災事故		(6)	(8)		(2)	(16)
H:調査中			1	1	2	4
(内数) 火災事故			(1)	(1)		(2)
合計		27	20	2	8	57
(内数) 火災事故		(16)	(14)	(1)	(3)	(34)

(2) 四国地方において発生した事故の事例

①2011年4月、愛媛県、70歳代・女性、軽傷

品名：いす（回転式、木製、食卓用）

【事故の内容】

腰掛けたいすを前へ引いたところ、いすの脚が1本抜けたために転倒し、打撲を負った。

【事故の原因】

事故品は、座板のホゾ穴に脚を差し込み、L形金具により補強しているが、脚のホゾ穴に差し込む部分に接着面積を増すための溝の彫り込みが施されておらず、また、接着剤の塗布量が不足していたため、繰り返し荷重により接着面が外れ、被害者がいすを前に引いた際にホゾ穴から脚が抜けたものと推定される。

②2013年10月、愛媛県、90歳代・女性、重傷

品名：歩行補助車

【事故の内容】

施設で使用者が事故品を使用中、転倒し、負傷した。

【事故の原因】

事故品の前輪キャスターが意図する方向にスムーズに動かなかったため、転倒に至った可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

③2013年11月、香川県、70歳代・男性、軽傷

品名：電気ストーブ（遠赤外線式）【電気ストーブ】

【事故の内容】

電気ストーブをつけて就寝したところ、頭などに火傷を負った。

【事故の原因】

被害者が使用したまま就寝したため、輻射熱により低温火傷を負ったものと推定される。なお、本体及び取扱説明書には、「長時間同じ姿勢で使用しない。熱いと感じたら本体を離すか、パワー調節の設定を低くする。」旨、記載されている。

2. 事故の再現実験映像について

映像（動画・写真）をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 高松第一生命ビル5F

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

四国支所 担当者：佐藤（さとう）、藤本（ふじもと）

電話：087-851-3961